

Aerophone(エアロフォン)AE-10

取扱説明書

サクソ・プレーヤーの新しい世界を広げるデジタル楽器 エアロフォン

ジャズ、クラシック、ポップスまで幅広く演奏されるサクソをベースに、最新のテクノロジーを駆使して、新たなデジタル楽器として生み出しました。ソプラノ、アルト、テナー、バリトンの4種類のサクソはもちろん、クラリネット、フルート、トランペット、バイオリン等の管弦楽器、さらにはパワフルなシンセ・リードまで、プレーヤーの音楽表現を広げる厳選された音色を搭載しています。

マウスピースに息を吹き込む強さや、くわえる強さなどの振る舞いから、音量だけでなくサウンドそのものをダイナミックに変化させ、自然で表現力豊かなサウンドを実現します。

サクソと同じ連指で演奏することができるので、サクソ奏者であれば本書を数ページ読むだけで、すぐに演奏を楽しむことができます。小型でヘッドホンも使用できるので、リビングのソファなど、場所や時間を気にすることなく心ゆくまで演奏を楽しむことができます。

エアロフォンがあなたの感性にひらめきを与え、より豊かな音楽生活になることを心より願っています。

Aerophone 開発チーム一同



© 2016 ローランド株式会社

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

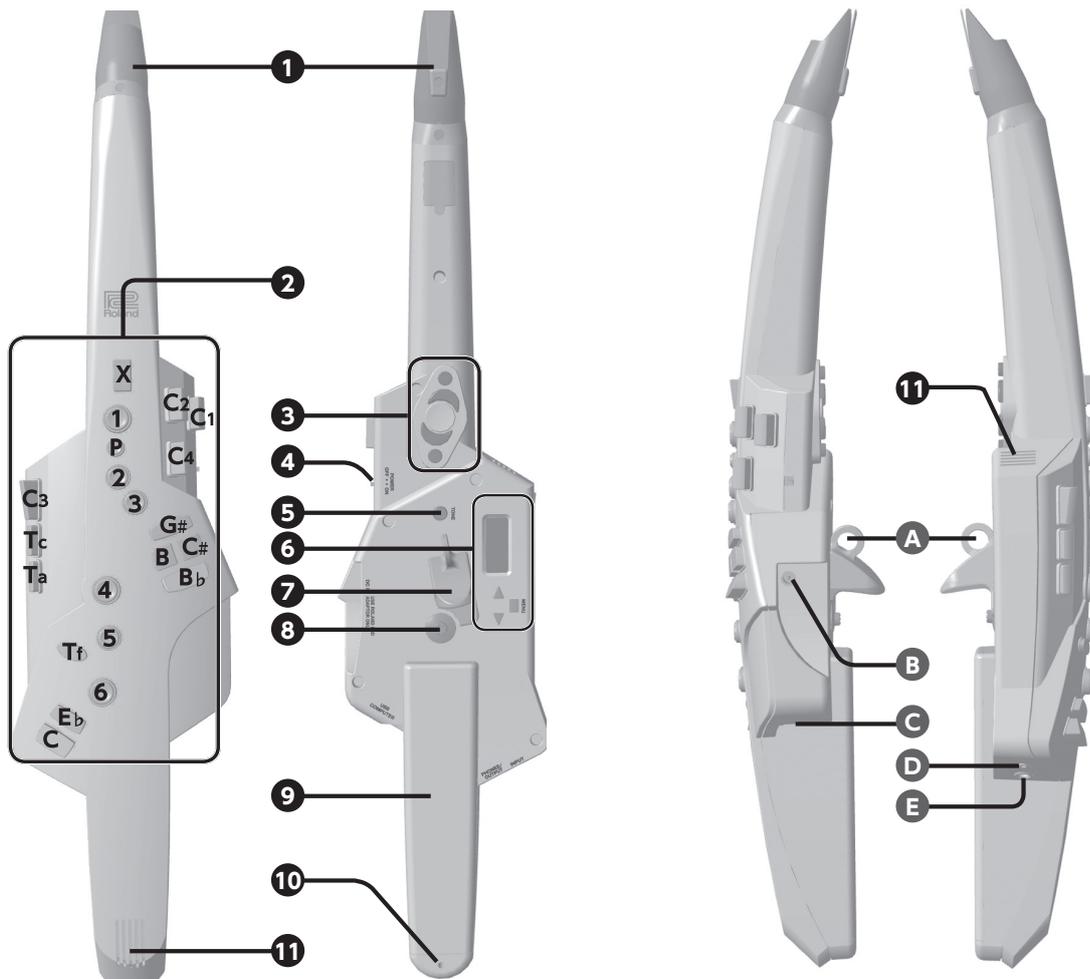
目次

各部の名称とはたらき	2
機器をつなぐ	3
サクソの音色で演奏する	4
構えかた	4
マウスピースのくわえかた	4
演奏キーの押さえかた	4
親指の使いかた	4
サクソのトーンを選ぶ	5
ショート・カット	5
ユーザー・トーンを即座に呼び出す	5
メニューの設定	6
メニューの設定方法	6
例：マスター・チューニングの変更	6
トーンの保存方法	6
メニュー一覧	7
音量の調整	7
マスター・チューニングの変更	7
プレス感度の設定	7
トーン音量	7
音域の変更 (トランスポーズ)	7
オクターブ・シフトの設定	7
リバーブの設定	7
コーラスの設定	7
マルチエフェクトの設定	7
バイト・センサーのコントロール設定	7
ビブラート感度の設定	7
ビブラートピッチ設定 (ダウン)	7
ビブラートピッチ設定 (アップ)	7
サム・コントローラー上/下 (バンド・アップ/ダウン) の設定	7

バンド・レンジの設定	8
サム・コントローラー左/右アサインの設定	8
サム・コントローラー左/右の範囲 (最小/最大値) の設定	8
サム・コントローラー左/右のトグルの設定	8
オクターブ・キーの設定	8
ホールドの設定	8
ヘッドホン使用時のスピーカーの設定	8
一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (オート・オフ)	8
ユーザー・トーンのショートカット設定	8
キー・ディレイ設定	8
連指モードを切り替えます	8
連指の追加/編集	9
プレスが効き始める値の調整	9
バイト・センサーのセンター調整	9
バイト・センサーの感度の設定	9
MIDI 送信チャンネルを変える (MIDI 送信チャンネル)	9
プレス MIDI 出力設定 1 / 2	10
バイト MIDI 出力設定 1 / 2	10
ユーザー・トーンとシステム設定のバックアップ	10
ユーザー・トーンとシステム設定のリストア	10
工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)	10
ユーザー・トーンの消去	10
バージョン情報	10
資料	11
主な仕様	11
安全上のご注意	11
使用上のご注意	11

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書 (P.11)）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

各部の名称とはたらき



① マウスピース

エアロフォン専用のマウスピースです。

- ➔ 詳しくは、「マウスピースのくわえかた」(P.4)をご覧ください。
- 演奏しないときは、付属のマウスピース・キャップで保護してください。
- マウスピースは、電源投入時に感度を自動調整します。そのため、**電源スイッチを入れるときには、マウスピースをくわえたり手で触れたりしないでください。**

② 演奏キー

演奏用のキーです。サクソと同じ運指で演奏することができます(P.4)。

- ➔ 詳しくは、巻末の運指表をご覧ください。

③ オクターブ・キー

オクターブを切り替えます。左手の親指で操作します。

- ※ オクターブ・キーは +1 / ±2 / ±3 オクターブに設定することができます(P.8)。



④ [POWER] スイッチ

電源をオン/オフします。

- ※ 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます(Auto Off 機能)。

自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください(P.8)。

⑤ [TONE] (トーン選択) ボタン

トーン(音色)選択画面を表示します。

演奏キーと組み合わせて、ユーザー・トーンを即座に呼び出すこともできます。

- ➔ 「ユーザー・トーンを即座に呼び出す」(P.5)

マウスピースのメンテナンス

通常のサクソのようなメンテナンスは必要ありません。演奏で汚れた場合は、マウスピースを取り外して水洗いし、柔らかい布で水滴が残らないように拭いてください。

ご注意!

- マウスピースの着脱時は、バイト・レバーを曲げないようにご注意ください。
- マウスピースを取り付けるときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。市販のリコーダー・クリームを塗ると、着脱しやすくなります。
- マウスピースが古くなるなど交換時期が来た場合は、別売の OP-AE10MP をお買い求めください。

図のように、凹凸が合うまでマウスピースを最後まで差し込んでください。

※ 最後まで差し込まないと、リードをくわえる強さによって、ピッチを上下させる(ビブラートさせる)ことができなくなります。



6 ディスプレイ部

トーン名 (音色名) やメニューを表示します。



トーン (音色) を選ぶ

エアロフォンでは、音色を「トーン」と呼びます。

1. [TONE] ボタン **5** を押しながら、[<] [] ボタンを押してトーン番号を選びます。
トーンはプリセット P:001 ~、ユーザー U:001 ~から選びます。電源投入時は、最後に選んだトーンが選ばれます。

メニューをエディットする

[MENU] ボタンを押すと、各種設定ができます。

1. [MENU] ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [<] [] ボタンでメニュー項目を選び、[MENU] ボタンを押します。
3. [<] [] ボタンで、値を変更します。
4. トーン選択画面に戻るときは、[TONE] ボタンを押します。
→ 詳しくは、「メニューの設定」(P.6) をご覧ください。

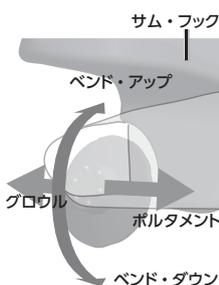
7 サム・フック

右手の親指を添えます。

8 サム・コントローラー

右手の親指で操作するコントローラーです。

バンド・アップ/ダウン	ピッチ (音高) をアップ/ダウンします。
ポルタメント	ピッチが滑らかに変化するようになります。
グロウル	サクソスのグロウル奏法



※ 工場出荷時のサクソス音色を選んだときの機能です。選んだトーンによっては、動作が異なります。

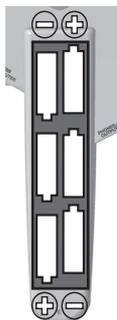
9 電池ボックス

エアロフォンは、電池または付属の AC アダプターで動作します。電池で使用するときは、電池の向きに注意して、充電式ニッケル水素電池 (単 3 形) を 6 本使用してください。

※ 電池の寿命は、通常演奏での使用で約 7 時間です。電池が消耗してくると、ディスプレイに電池アイコン (電池) が点滅表示されます。早めに電池を交換してください。

※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」「使用上のご注意」(「安全上のご注意」チラシと取扱説明書 (P.11)) に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。



10 ウォーター・ドレイン

水滴が出ます。柔らかい布で拭いてください。

11 内蔵スピーカー

音量は基本的に演奏時の息の強さで調整しますが、メニューでボリュームを設定することもできます (P.7)。

機器をつなぐ

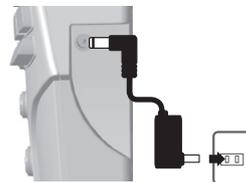
A ストラップ・フック

ネック・ストラップを取り付けます。



B DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。



パソコンとつなぐ

C USB COMPUTER 端子

市販の USB2.0 ケーブルでパソコンに接続します。USB MIDI の情報をやりとりすることができます。



オーディオ・プレーヤーとつなぐ

D INPUT 端子

オーディオ・プレーヤーをつなぎます。この端子に入力された音は、エアロフォンの内蔵スピーカーや PHONES/OUTPUT 端子から出力されます。

お気に入りの曲に合わせて演奏することができます。

音量はつないだ機器 (オーディオ・プレーヤー) で調節してください。



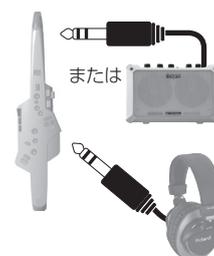
モニター・スピーカーやヘッドホンとつなぐ

E PHONES/OUTPUT 端子

モニター・スピーカーまたはヘッドホンに接続します。

この端子にヘッドホンやケーブルをつなぎ、内蔵スピーカーから音が鳴らなくなりますが、メニューで音が鳴るように設定することもできます (P.8)。

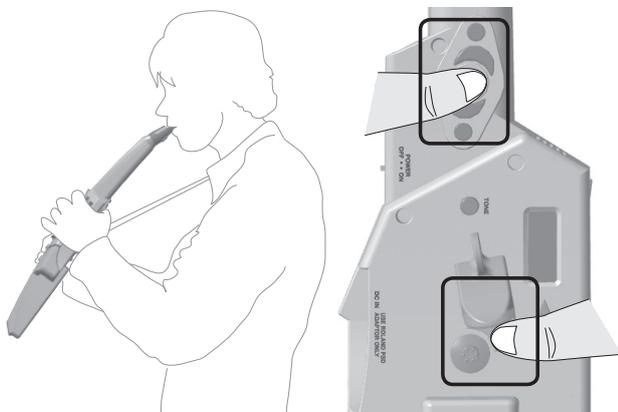
※ スピーカーなどの機器に接続したら、必ず本機→接続した機器の順に電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。電源を切るときは、接続した機器→本機の順に電源を切ってください。



サクスの音色で演奏する

構えかた

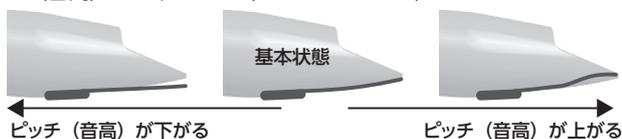
ネック・ストラップを取り付けて、ストラップを首にかけ、図のように構えます。
 左手の親指をオクターブ・キーの中央に、右手の親指をサム・フックにあてます。



マウスピースのくわえかた

上下の唇と歯でマウスピースを軽くくわえ、通常のサクスと同じように息を吹き込みます。

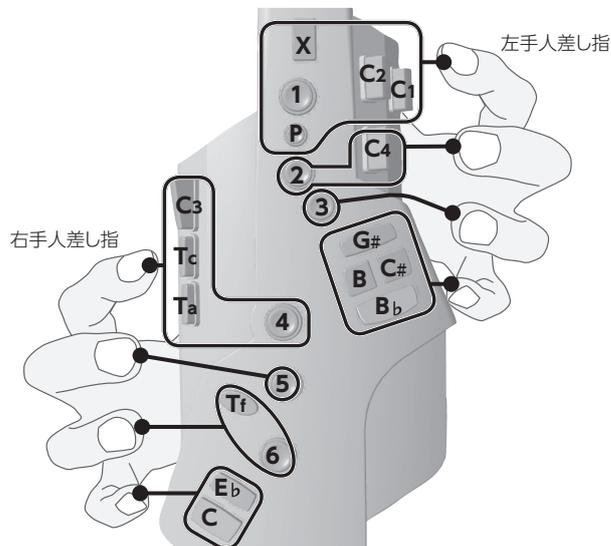
- 息の強さによって、音量だけでなく、サウンド自体も変化します。
- タンギング（舌を使って息をコントロール）やレガート演奏をすることで、より豊かな表現ができます。
- リードをくわえる強さによって、通常のサクスのようにピッチ（音高）を上下させる（ビブラートさせる）ことができます。



演奏キーの押さえかた

演奏用のキーです。サクスと同じ運指で演奏することができます。

→ 詳しくは、巻末の運指表をご覧ください。



※ サイドのキー（C1～C4、Tc、Ta）は指の腹で押さええます。

フラジオ奏法について

フラジオとは、サクスの倍音の吹き分けと特殊な運指を利用して超高音域を出すための奏法です。

- エアロフォンでは、演奏キーを押すだけで、倍音を吹き分けることなく簡単にフラジオ演奏することができます。
- 運指については、巻末の運指表をご覧ください。
- 運指は、自分好みにエディットすることもできます（P.9）。

親指の使いかた

オクターブ・キー

オクターブを切り替えます。左手の親指で操作します。

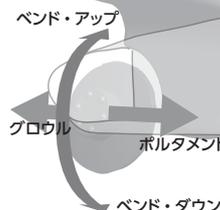
※ オクターブ・キーは +1 / ± 2 / ± 3 オクターブに設定することができます（P.8）。



サム・コントローラー

右手の親指で操作するコントローラーです。

バンド・アップ/ダウン	ピッチ（音高）をアップ/ダウンします。
ポルタメント	ピッチが滑らかに変化するようになります。
グロウル	サクスのグロウル奏法



※ 工場出荷時のサクス音色を選んだときの機能です。選んだトーンによっては、動作が異なります。

サクスのトーンを選ぶ

代表的なサクス音色を選んでみましょう。



1. [TONE] ボタンを押しながら、【◀】 【▶】 ボタンを押してトーン番号を選びます。

[TONE] + 【◀】 【▶】 ボタンで、以下のトーン番号を選びます。

No.	トーン名	説明	基本キー
P:001	Alto Sax Eb	アルト・サクス	E♭
P:002	Tenor Sax Bb	テナー・サクス	B♭
P:012	Full Sax Eb	フル・レンジ・サクス 演奏する音域によって、バリトン〜ソプラノ・サクスの音色に自動的に切り替わります。	E♭
P:013	Soprano Sax Bb	ソプラノ・サクス	B♭
P:014	Baritone Sax Eb	バリトン・サクス	E♭

※ 基本キーとは、巻末の運指表の「ド (C)」の指で鳴る音です。

※  アイコンは、SuperNATURAL トーン選択時に表示されます。

SuperNATURAL

Behavior Modeling Technology により、従来の音源では難易度の高かった「自然で豊かな表現」を可能にしたローランド独自の音色群です。

Behavior Modeling Technology

楽器そのもののモデリングに加え、奏法における各楽器独特の振る舞いをもモデリングすることにより、リアルタイムに自然で豊かな表現を可能にする音源技術です。

SuperNATURAL



さまざまな音色で演奏する

→ 詳しくは、「トーン・リスト」(PDF) をご覧ください。
<http://www.roland.co.jp/manuals/>

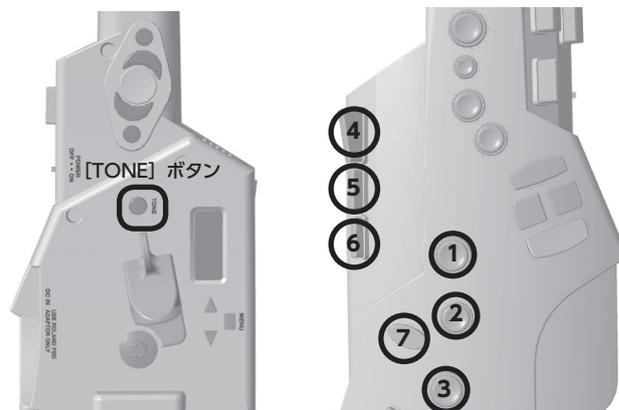
ショート・カット

ボタン	説明
【◀】 を押しながら 【▶】	値を素早く減少
【▶】 を押しながら 【◀】	値を素早く増加
[TONE] + 演奏キー [E♭]	トーン番号を -1
[TONE] + 演奏キー [C]	トーン番号を +1



ユーザー・トーンを即座に呼び出す

ユーザー・トーン U:001 ~ U:007 は、[TONE] ボタンを押しながら [1] ~ [7] のいずれかの演奏キーを押すことで、即座に呼び出すことができます。ライブでトーンを切り替えるときに便利です。



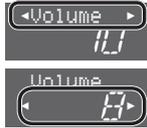
メニューの設定

メニューの設定方法



[MENU] ボタンを押すと、各種設定ができます。

1. [MENU] ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [◀] [▶] ボタンでメニュー項目を選び、[MENU] ボタンを押します。
3. [◀] [▶] ボタンで、値を変更します。
4. トーン選択画面に戻るときは、[TONE] ボタンを押します。



例：マスター・チューニングの変更

エアロフォンのチューニングを変更します。表示の値は A (ラ) の周波数です。エアロフォンは工場出荷時のチューニングは A=440.0Hz ですが、442.0Hz などに変更することができます。

1. [MENU] ボタンを押します。
 2. [◀] [▶] ボタンで [M. Tuning] を選び、[MENU] ボタンを押します。
 3. [◀] [▶] ボタンで、チューニングを変更します。
- 415.3Hz ~ 440.0Hz (初期値) ~ 466.2Hz の間で調節することができます (0.1Hz 単位で増減)。



トーンの設定方法

「メニュー一覧」(P.7) の★マークは「トーン設定」です。トーン設定を記憶したい場合は、以下の手順でユーザー・トーンに保存してください。

システム設定とトーン設定

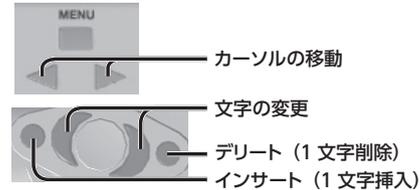
設定には、システム設定とトーン設定があります。

- [システム設定] は、すべてのトーンに共通の設定です。設定変更時に自動で記憶します。
- [トーン設定] は、トーンごとの設定です。変更した設定は自動では記憶されず、ユーザー・トーンに保存することで記憶されます。

1. [MENU] ボタンを長押しします。
下段に保存先のユーザー・トーン番号が表示されます。
2. [◀] [▶] ボタンで、保存先のユーザー・トーン番号を変更します。



3. [MENU] ボタンを押します。
4. 名前を変更します (16 文字)。



5. [MENU] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
6. 保存を実行する場合は、[▶] (Y) ボタンを押します。
キャンセルする場合は、[◀] (N) ボタンを押します。
※ 書き込み中は電源を切らないでください。



メニュー一覧

★：トーン設定 S：システム設定

メニュー項目	設定値	初期値	説明	
Volume	0 ~ 10	8	音量の調整 音量は基本的に演奏時の息の強さで調整しますが、メニューでボリュームを設定することもできます。スピーカーと PHONES/OUTPUT 端子の音量が変わります。	S
M.Tuning	415.3 ~ 466.2 (Hz)	440.0	マスター・チューニングの変更 エアロフォンのチューニングを変更します。 表示の値は A (ラ) の周波数です。エアロフォンは工場出荷時のチューニングは A=440.0Hz ですが、442.0Hz などに変更することができます。	S
Breath	L3、L2、L1、M、H1、H2、H3	M	ブレス感度の設定 息の強さと音の鳴りかたを設定します。 L3、L2、L1 弱く吹いてもフォルティシモ (ff) が出せます。 M 実際の管楽器に一番近い設定です。 H1、H2、H3 より強く吹かないとフォルティシモ (ff) が出せなくなります。	S
Tone Vol	0 ~ 10	10	トーン音量 トーンごとの音量を設定します。	★
Transpos	-5 ~ +6	トーンによる	音域の変更 (トランスポーズ) トーンの音域を、半音単位でトランスポーズ (移動) します。 [0] に設定すると、巻末の運指表の「ド (C)」の運指で C が鳴ります。 基本キーが「E _♭ 」のアルト・サクソスはトランスポーズが「+3」に、基本キーが「B _♭ 」のソプラノ・サクソスは「-2」に設定されています。	★
Octave	-3 ~ +3	トーンによる	オクターブ・シフトの設定 トーンの音域を 1 オクターブ単位で動かします。 それぞれのトーンごとに最適な音域になるように、あらかじめオクターブ・シフトの値が設定されています。たとえば、ソプラノ・サクソスは「0」、アルト・サクソスは「-1」、バリトン・サクソスは「-2」に設定されています。	★
Reverb	0 ~ 10	トーンによる	リバーブの設定 リバーブ (コンサート・ホールで演奏しているような響き) の深さを調節します。	★
Chorus	0 ~ 10	トーンによる	コーラスの設定 コーラスのかかり具合を調節します。 コーラスとは、微妙に揺れる音を加えて、広がりや厚みのある美しい音色に変えるエフェクトです。	★
MFx1 MFx2	0 ~ 10	トーンによる	マルチエフェクトの設定 トーンごとに設定されたエフェクトのかかり具合を設定します。 ※ エフェクトのタイプはトーンごとに決まっています、本体で選ぶことはできません。	★
BiteCtrl	OFF、PIT、VIB	トーンによる	バイト・センサーのコントロール設定 バイト・センサー (マウスピースをくわえる強さ) でコントロールするパラメーターを、トーンごとに設定します。 OFF オフ PIT マウスピースをくわえる強さでピッチをコントロールすることができます。例えば、くわえ方の強弱でピブラートをかけることができます。 VIB マウスピースを強くくわえると、自動的にピブラートがかかります。	★
VibSens	0 ~ 10	5	ビブラート感度の設定 ビブラートのかかりやすさを設定します。	S
VibDown	0 ~ 64	トーンによる	ビブラートピッチ設定 (ダウン) ビブラートのピッチ変化 (ダウン) を設定します (BiteCtrl=PIT のときのみ有効です)。	★
VibUp	0 ~ 64	トーンによる	ビブラートピッチ設定 (アップ) ビブラートのピッチ変化 (アップ) を設定します (BiteCtrl=PIT のときのみ有効です)。	★
Bend Sw	OFF、ON	トーンによる	サム・コントローラー上/下 (バンド・アップ/ダウン) の設定 サム・コントローラー上/下 (バンド・アップ/ダウン) の有効/無効を設定します。	★

English

日本語

Deutsch

Français

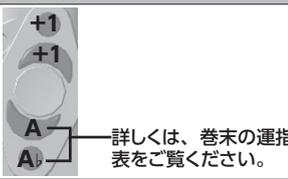
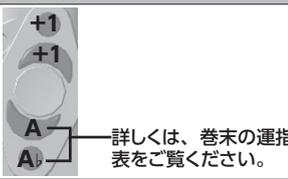
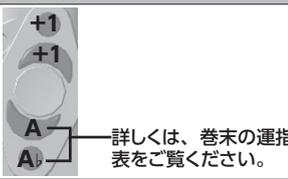
Italiano

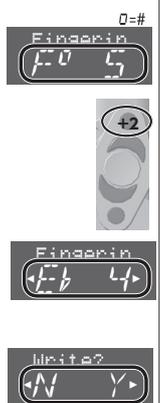
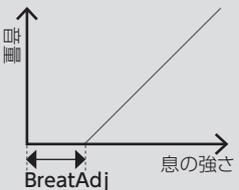
Español

Português

Nederlands

メニューの設定

メニュー項目	設定値	初期値	説明															
Bend Rng	1 ~ 12	トーンによる	ベンド・レンジの設定 サム・コントローラー上/下 (ベンド・アップ/ダウン) のベンド・レンジを半音単位で設定します。	★														
Left Right	OFF、CC.1 ~ 31、 CC.33 ~ 95、 H.-8、H.3、H.5、H.8	トーンによる	サム・コントローラー左/右アサインの設定 サム・コントローラー (左/右) でコントロールするパラメーターを、トーンごとに設定します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>Off</td> </tr> <tr> <td>CC.1 ~ 31、CC.33 ~ 95</td> <td>Control Change</td> </tr> <tr> <td>H.-8</td> <td>Harmony -1 Oct</td> </tr> <tr> <td>H.3</td> <td>Harmony 3rd</td> </tr> <tr> <td>H.5</td> <td>Harmony 5th</td> </tr> <tr> <td>H.8</td> <td>Harmony +1 Oct</td> </tr> </tbody> </table>	設定値	説明	OFF	Off	CC.1 ~ 31、CC.33 ~ 95	Control Change	H.-8	Harmony -1 Oct	H.3	Harmony 3rd	H.5	Harmony 5th	H.8	Harmony +1 Oct	★
設定値	説明																	
OFF	Off																	
CC.1 ~ 31、CC.33 ~ 95	Control Change																	
H.-8	Harmony -1 Oct																	
H.3	Harmony 3rd																	
H.5	Harmony 5th																	
H.8	Harmony +1 Oct																	
Left Min Left Max RightMin RightMax	0 ~ 127	トーンによる	サム・コントローラー左/右の範囲 (最小/最大値) の設定 サム・コントローラー (左/右) でコントロールする値の範囲 (最小/最大値) を設定します。	★														
Left Tgl RightTgl	OFF、ON	トーンによる	サム・コントローラー左/右のトグルの設定 サム・コントローラー (左/右) をトグルするかしないかを設定します。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>通常のコントローラー動作です。</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>コントローラーを動かすたびに最大値/最小値に切り替わります。</td> </tr> </tbody> </table>	OFF	通常のコントローラー動作です。	ON	コントローラーを動かすたびに最大値/最小値に切り替わります。	★										
OFF	通常のコントローラー動作です。																	
ON	コントローラーを動かすたびに最大値/最小値に切り替わります。																	
Oct. Key	OCT1、 OCT2、 OCT3	トーンによる	オクターブ・キーの設定 オクターブ・キーは±2 オクターブと±3 オクターブに設定することができます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>OCT1</th> <th>OCT2</th> <th>OCT3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">詳しくは、巻末の運指表をご覧ください。</td> <td>同時押しで +2</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>同時押しで -2</td> </tr> </tbody> </table>	OCT1	OCT2	OCT3				詳しくは、巻末の運指表をご覧ください。		同時押しで +2			同時押しで -2	★		
OCT1	OCT2	OCT3																
																		
詳しくは、巻末の運指表をご覧ください。		同時押しで +2																
		同時押しで -2																
Hold	OFF、ON	OFF	ホールドの設定 オンにした場合は、息を吹くと音が鳴りっぱなしになります。息を吸うと止まります。	★														
Speaker	OFF、ON、AUTO	AUTO	ヘッドホン使用時のスピーカーの設定 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>内蔵スピーカーから音を出さない。</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>内蔵スピーカーから音を出す。</td> </tr> <tr> <td>AUTO</td> <td>PHONES/OUTPUT 端子にヘッドホンやケーブルをつないだときに、内蔵スピーカーから音を出さない。</td> </tr> </tbody> </table>	OFF	内蔵スピーカーから音を出さない。	ON	内蔵スピーカーから音を出す。	AUTO	PHONES/OUTPUT 端子にヘッドホンやケーブルをつないだときに、内蔵スピーカーから音を出さない。	S								
OFF	内蔵スピーカーから音を出さない。																	
ON	内蔵スピーカーから音を出す。																	
AUTO	PHONES/OUTPUT 端子にヘッドホンやケーブルをつないだときに、内蔵スピーカーから音を出さない。																	
Auto Off	OFF、5、30	30	一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (オート・オフ) 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、「OFF」に設定してください。	S														
UserTone	OFF、ON	OFF	ユーザー・トーンのショートカット設定 ユーザー・トーンのショートカットの有効/無効を設定します (P.5)。	S														
KeyDelay	0 ~ 10	5	キー・ディレイ設定 複数のキーを同時に押したり、離したりするとき、運指のばらつきによって意図しない音が鳴ることがあります。キー・ディレイを設定することにより、意図しない音が出にくくすることができます。	S														
FingMode	SAX1、SAX2	SAX1	運指モードを切り替えます。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>SAX1</td> <td>フラジオありのサクソックス運指</td> </tr> <tr> <td>SAX2</td> <td>フラジオなしのサクソックス運指</td> </tr> </tbody> </table>	SAX1	フラジオありのサクソックス運指	SAX2	フラジオなしのサクソックス運指	S										
SAX1	フラジオありのサクソックス運指																	
SAX2	フラジオなしのサクソックス運指																	

メニュー項目	設定値	初期値	説明		
Fingerin			<p>運指の追加／編集</p> <p>好みの運指を追加／編集できます。</p> <p>※ 運指の設定は、10 個まで設定可能です。</p> <p>※ このモードでは、トランスポーズ、オクターブ・シフトの設定は無視されます。</p> <p>→ 表示される音名と運指については、巻末の運指表をご覧ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上段で [Fingerin] を選び、[MENU] ボタンを押します。 2. 演奏キーを押します。 下段に音名が表示されます。 対応する音がない場合は [NONE] と表示されます。 3. 編集したい運指の状態で、オクターブ・キー [+2] を押します。 4. [◀] [▶] ボタンで、音名を変更します。 [NONE] を選ぶと、その運指は無効になります。 5. [MENU] ボタンを押します。 確認画面が表示されます。 6. 保存を実行する場合は、[▶] (Y) ボタンを押します。 キャンセルする場合は、[◀] (N) ボタンを押します。 		S
BreatAdj	AUTO、0 ~ 100	AUTO	<p>ブレスが効き始める値の調整</p> <p>音が鳴り始める息の強さを調整します。 通常は [AUTO] に設定することで、電源投入時に感度を自動調整します。 手動で調整したい場合は、以下の手順で調整してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設定値を 0 にします。 音が鳴りっぱなしになります。 2. 音が消えるまで、設定値を徐々に大きくしていきます。 3. マウス・ピースに息を吹き込み、音が鳴り始める好みの値に調整します。 		S
Bite Adj	AUTO、 -50 ~ 0 ~ +50	AUTO	<p>バイト・センサーのセンター調整</p> <p>バイト・センサー（マウスピースをくわえる強さ）が基本状態のときの調整をします。 通常は [AUTO] に設定することで、電源投入時に感度を自動調整します。 手動で調整したい場合は、以下の手順で調整してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設定値を 0 にします。 2. マウスピースを基本状態の強さでくわえて、息を吹きます。  3. 通常よりも強くくわえないと音が鳴らない場合は、値を小さくします。 通常よりも弱くくわえないと音が鳴らない場合は、値を大きくします。 	S	
BiteSens	AUTO、 -50 ~ 0 ~ +50	AUTO	<p>バイト・センサーの感度の設定</p> <p>バイト・センサー（マウスピースをくわえる強さ）の感度を設定します。 通常は [AUTO] に設定することで、電源投入時に感度を自動調整します。 手動で調整したい場合は、以下の手順で調整してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設定値を 0 にします。 2. マウスピースをくわえる強さを変えて、演奏します。 3. バイト・センサーの効果が効きすぎる場合は、値を小さくします。 効果がかけにくい場合は、値を大きくします。 	S	
MIDI Ch	1 ~ 16	1	<p>MIDI 送信チャンネルを変える (MIDI 送信チャンネル)</p> <p>本機が送信する MIDI チャンネルを設定します。 なお、本機は 1 ~ 16 のすべてのチャンネルを受信します。</p>	S	

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

メニュー項目	設定値	初期値	説明		
BreaOut1	OFF、CC.1～31、 CC.33～95、BEND、 AFT.T、TONE	CC.2	ブレス MIDI 出力設定 1 / 2 ブレス・センサーでコントロールする MIDI 出力を設定します。	設定値について OFF 出力なし CC.1～31、 CC.33～95 コントロール チェンジ BEND ピッチベンド AFT.T アフタータッチ TONE トーンごとに設 定されているコ ントロール	S
BreaOut2		OFF			S
BiteOut1		BEND	バイト MIDI 出力設定 1 / 2 バイト・センサーでコントロールする MIDI 出力を設定します。	S	
BiteOut2		OFF		S	
Backup				ユーザー・トーンとシステム設定のバックアップ ユーザー・トーンとシステム設定を PC にバックアップします。 <ol style="list-style-type: none"> 1. USB ケーブルで、パソコンと USB COMPUTER 端子を接続します (P.3)。 2. 上段で「Backup」を選び、[MENU] ボタンを押します。 確認画面が表示されます。 3. 実行する場合は、[▶] (Y) ボタンを押します。 キャンセルする場合は、[◀] (N) ボタンを押します。 実行すると、エアロフォンの画面に「WAIT」と表示され、パソコンの画面に BACKUP ドライブが表示されます。 4. BACKUP ドライブの Aerophone/BACKUP フォルダー内にある AE10_BKUP.SVD ファイルをパソコンにコピーします。 5. BACKUP ドライブを取り出し、USB ケーブルを取り外します。 ※「WAIT」と表示されている間は、電源を切らないでください。 6. 「END」と表示されたら、電源を入れなおします。 	
Restore			ユーザー・トーンとシステム設定のリストア ユーザー・トーンとシステム設定を PC からリストアします。 <ol style="list-style-type: none"> 1. USB ケーブルで、パソコンと USB COMPUTER 端子を接続します (P.3)。 2. 上段で「Restore」を選び、[MENU] ボタンを押します。 確認画面が表示されます。 3. 実行する場合は、[▶] (Y) ボタンを押します。 キャンセルする場合は、[◀] (N) ボタンを押します。 実行すると、エアロフォンの画面に、「WAIT」と表示され、パソコンの画面に RESTORE ドライブが表示されます。 4. RESTORE ドライブに、バックアップした AE10_BKUP.SVD ファイルをコピーします。 5. RESTORE ドライブを取り出し、USB ケーブルを取り外します。 ※「WAIT」と表示されている間は、電源を切らないでください。 6. 「END」と表示されたら、電源を入れなおします。 		
FctReset			工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット) エアロフォンを、工場出荷時の状態に戻します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 上段で「FctReset」を選び、[MENU] ボタンを押します。 確認画面が表示されます。 2. 実行する場合は、[▶] (Y) ボタンを押します。 キャンセルする場合は、[◀] (N) ボタンを押します。 		
User Clr			ユーザー・トーンの消去 ユーザー・トーンを消去します。Ver2.00 以降のファクトリー・リセット (FctReset) では、システム設定のリセットのみが実行され、ユーザー・トーンは消去されません。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 上段で「User Clr」を選び、[MENU] ボタンを押します。 確認画面が表示されます。 2. 実行する場合は、[▶] (Y) ボタンを押します。 キャンセルする場合は、[◀] (N) ボタンを押します。 		
Version			バージョン情報 本機のシステム・プログラムのバージョンを表示します。		

主な仕様

ローランド エアロフォン AE-10 デジタル・ウィンド・インストゥルメント

電源	ACアダプター (DC5.7V) 充電式ニッケル水素電池単 3 形 (別売) × 6
消費電流	418mA
連続使用時の電池の寿命	充電式ニッケル水素電池:約 7 時間 (容量 1,900mAh 使用時) ※ 使用状態によって異なります ※ マンガン乾電池、アルカリ乾電池は使用不可
外形寸法	128 (幅) × 93 (奥行) × 574 (高さ) mm
質量 (電池含む)	855g (電池含む)
付属品	取扱説明書、「安全上のご注意」チラシ、保証書、ローランドユーザー登録カード、ACアダプター、マウスピース・キャップ、ネック・ストラップ、専用ハンド・キャリア・バッグ
別売品	専用マウスピース

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

安全上のご注意

警告

ストラップを使用するときは首が絞まらないように取り扱いにご注意ください



Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください (P.8)。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



注意

指などをはさまないように注意する

下記の可動部を操作するときは、指などをはさまないように注意してください。お子様が使用されるときは、大人のかたが監視/指導してください。

- ・ マウスピース (P.2)



使用上のご注意

電池について

- 電池の消耗が著しいと音が歪みやよくなる場合がありますが故障ではありません。このようなときは電池を交換/付属の AC アダプターを使用してください。
- 電池で使用する場合は充電式ニッケル水素電池を使用してください。
- 電池が入っていても、電源を入れたまま電源コードをコンセントから抜いたり、AC アダプターを本体から抜いたりすると、電源が切れます。電源コードや AC アダプターは、必ず電源を切ってから抜いてください。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー一部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 本機を机の上に置く場合は、机に傷などがつかないようにご注意ください
- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ (音色波形データ、スタイルデータ、伴奏パターン、フレーズデータ、オーディオ・ループ、画像データなど) の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ (ただしデモ曲などの楽曲データは除く) を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をすることに関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- Roland、BOSS、SuperNATURAL、Aerophone は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。

Fingering Chart / 運指表

A \sharp 3/B \flat 3	B3	C4	C \sharp 4/D \flat 4	D4	D \sharp 4/E \flat 4	E4	F4

F \sharp 4/G \flat 4	G4	G \sharp 4/A \flat 4	A4	A \sharp 4/B \flat 4	B4

C5	C \sharp 5/D \flat 5	D5	D \sharp 5/E \flat 5	E5

F5	F \sharp 5/G \flat 5

Oct Key: OCT 1

A3	G \sharp 2/A \flat 3

Playing harmonics (overtones) / フラジオ奏法

F#5/Gb5 G5

This section shows the fingering for F#5/Gb5 and G5. The musical staff displays a treble clef with a sharp sign on the first line (F#) and a flat sign on the second line (Gb) for the first chord, and a single note on the second line (G) for the second chord. Below the staff are two columns of guitar diagrams. The first column contains five diagrams for F#5/Gb5, showing various fingerings on the first five frets. The second column contains three diagrams for G5, showing fingerings on the second, third, and fourth frets.

G5 G#5/Ab5

This section shows the fingering for G5 and G#5/Ab5. The musical staff displays a treble clef with a single note on the second line (G) for the first chord, and a sharp sign on the first line (G#) and a flat sign on the second line (Ab) for the second chord. Below the staff are two columns of guitar diagrams. The first column contains six diagrams for G5, showing fingerings on the second, third, and fourth frets. The second column contains two diagrams for G#5/Ab5, showing fingerings on the first and second frets.

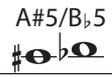
G#5/Ab5

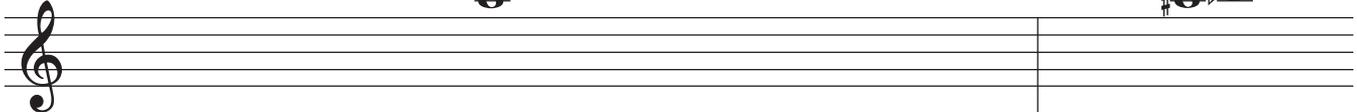
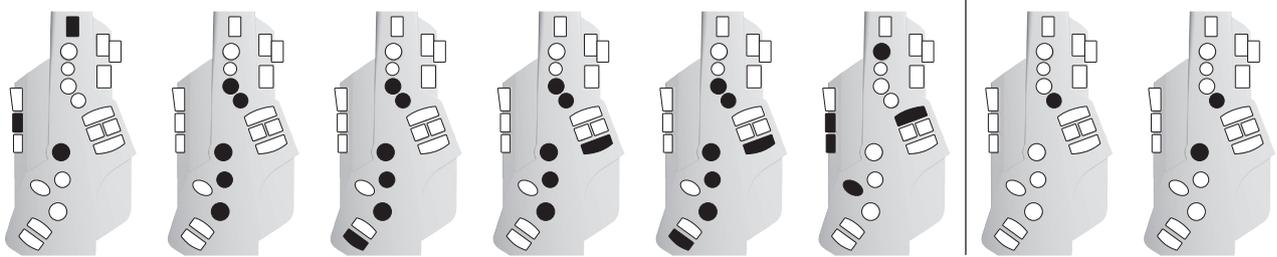
This section shows the fingering for G#5/Ab5. The musical staff displays a treble clef with a sharp sign on the first line (G#) and a flat sign on the second line (Ab). Below the staff are eight guitar diagrams showing various fingerings for this chord across the first five frets.

A5

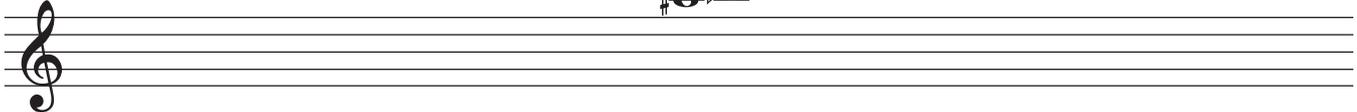
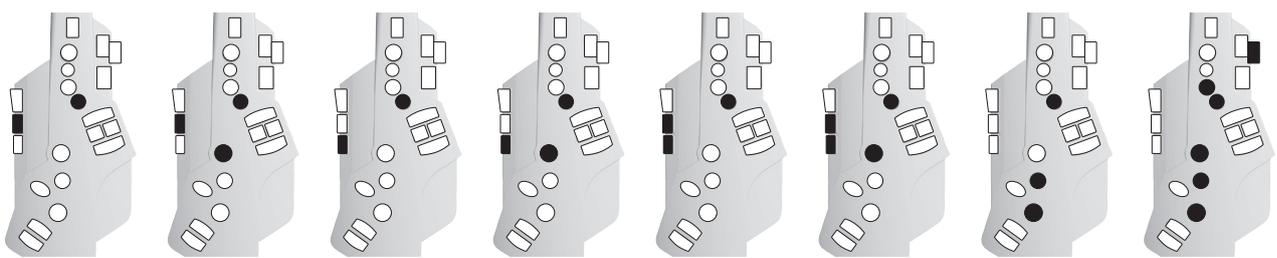
This section shows the fingering for A5. The musical staff displays a treble clef with a single note on the second space (A). Below the staff are eight guitar diagrams showing various fingerings for this chord across the first five frets.

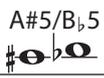
A5 

A#5/B \flat 5 

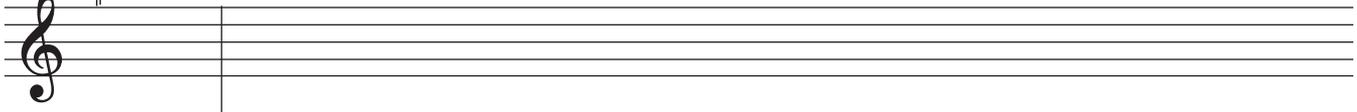
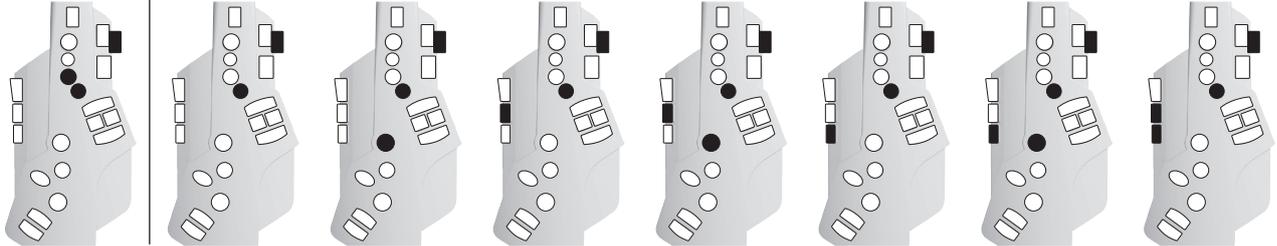



A#5/B \flat 5 

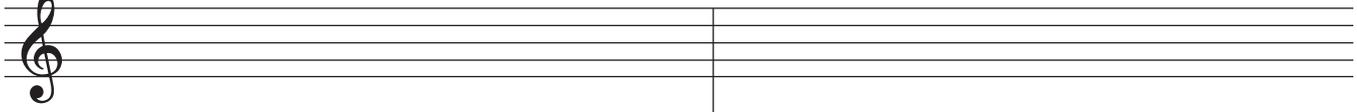
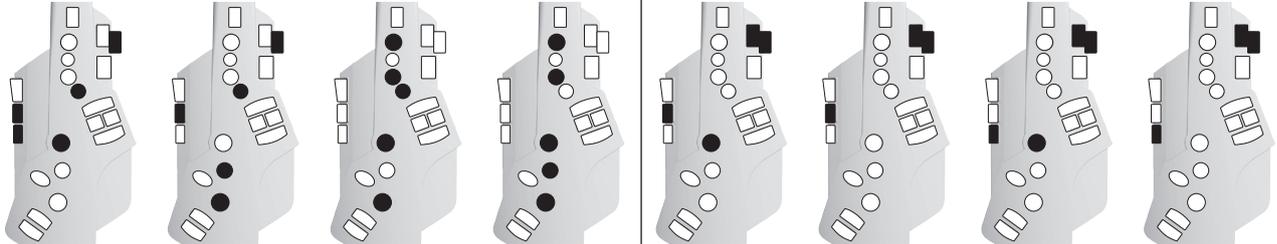
A#5/B \flat 5 

B5 

B5 

G6 

Fingering Chart / 運指表

C6

A musical staff with a treble clef. Below the staff are eight guitar fretboard diagrams for the C6 chord. The diagrams show fingerings for the six strings across the first six frets. The notes are G4, A4, B4, C5, D5, and E5.

C6

C#6/D \flat 6

D6

D#6/E \flat 6

A musical staff with a treble clef. Below the staff are eight guitar fretboard diagrams, grouped into four pairs. Each pair corresponds to a chord: C6, C#6/D \flat 6, D6, and D#6/E \flat 6. The diagrams show fingerings for the six strings across the first six frets.

D#6/E \flat 6

E6

A musical staff with a treble clef. Below the staff are eight guitar fretboard diagrams, grouped into two sets of four. The first set of four diagrams is for the D#6/E \flat 6 chord, and the second set of four diagrams is for the E6 chord. The diagrams show fingerings for the six strings across the first six frets.

E6

F6

A musical staff with a treble clef. Below the staff are five guitar fretboard diagrams, grouped into two sets. The first set of three diagrams is for the E6 chord, and the second set of two diagrams is for the F6 chord. The diagrams show fingerings for the six strings across the first six frets.